

# 内 科 学

## 1 担当教員名

【研究指導教授】 教授 伊藤 理 (代理)  
【科目担当者】 教授(特任) 佐々木 誠人

## 2 教育目標

### (1) ねらい

学生は、臨床において最も頻度の高い疾患の一つである消化管疾患の病態について、学生はさまざまな手法を用いて研究するとともに、新たな治療法につながる独創的なアイデアを具現可能な技術と思考能力を身につける。

### (2) 学修の到達目標

- ① 学生は消化管疾患の病態生理が説明でき、診断・治療ができる
- ② 学生は文献の収集ができる
- ③ 学生は研究計画が策定できる
- ④ 学生はデータの収集、解析ができる
- ⑤ 学生は成果をプレゼンテーションできる
- ⑥ 学生は英語で論文を書くことができる

## 3 授業内容

【講義】	消化器病学とくに消化管腫瘍、炎症性腸疾患、消化性潰瘍、胃食道逆流症、機能的消化管障害などの病態生理、診断、治療法に関する講義を行う。
【演習】	消化管疾患に対する診断と治療法について消化器内視鏡手技を合わせて演習する。また、最新の知見につき文献を収集、解析を行なう。
【実験研究】	消化管疾患に対する病態解明のための実験的研究を行うとともに、臨床研究のための研究計画の策定、データの収集、解析を行う。

## 4 成績評価の方法・基準

独創的思考能力、論理的思考能力、問題解決力、コミュニケーションとプレゼンテーション能力などをディスカッションや論文作成を通じて総合的に評価する。

## 5 教科書・参考図書

必要に応じてプリントを配布する。

## 6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

週7時間程度の準備学習時間を設け、事前にプリントなどに目を通しておく。

## 7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

発表活動を通して、専門的職人に必要とされるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を習得し、研究における指導的な役割を担うことができる。さらに、消化器病学に関する論文作成を通して、消化管分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力、特に専門領域での様々な課題に対応できる実践力を修得できる。

## 8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

レポート内容について個別に指導し、評価後、返却されるが、内容に不足・誤りがある場合は再提出を求めることがある。

## 9 履修上の留意点

学究的な思考能力の向上のみならず倫理的配慮を忘れないこと。

## 10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授(特任)	佐々木誠人	火	11:00~12:00	D棟3階医局	内線 23487